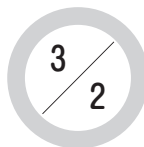


# 寒さなんて、なんのその

2014カルルス温泉冬まつり



▲親子ボブスレー



▲ホールインワン



▲雪中みかん拾い

3月2日(日)、サンライバスキー場で『2014カルルス温泉冬まつり』(同実行委員会主催)が開催されました。

親子連れなど約1千700人が会場を訪れ、毎年恒例の『雪中みかん拾い』をはじめとする多様な催しを楽しみました。

『登別市長杯・アルファスポーツ賞少年スキー大会』では小学生の出場者たちが雪煙を巻き上げながら記録に挑戦し、『親子ボブスレー大会』では親子が歓声を上げながら、そりで斜面を滑り降りていました。ほかにものを狙って雪玉を投げる『ストライクワン』、雪中のコースでパークゴルフのボールを打つ『ホールインワン』などの催しで、来場者は寒さをものともせず思い思いに冬のイベントを楽しんでいました。

午後からは登別産のサケを使った石狩鍋と、市内で捕獲したエゾシカの肉を使ったシチュー計600食がふるまわれ、来場者の人気を集めていました。

# 響け! 復興のハーモニー

東日本大震災復興支援  
チャリティーコンサート



▲総勢72人での合同演奏

3月11日(火)、市民会館で『東日本大震災復興支援チャリティーコンサート』(北海道大谷室蘭高校吹奏楽部・北海道室蘭清水丘高校吹奏楽団主催)が行われました。

東日本大震災から3年の節目となるこの日、復興支援のために作られた『陽はまた昇る』『花は咲く』などの曲を両校が合同で演奏し、復興への願いを音色に乗せ響かせました。

平日の開催にもかかわらず約300人の聴衆が集い、会場が一つとなって被災地の復興への願いを共有しました。

## 感動したことを形に

高山美香さんトークショー

3月15日(土)、市立図書館でイラストレーター・高山美香さんのトークショー(市主催)が行われ、約40人が「ちまちま人形ができるまで」の話に聞き入りました。

高山さんが作り上げる文豪や偉人をモチーフにしたミニチュア人形の大きさは5〜10センチ。人物の目や髪の色、使用していた小物など細部まで作り込まれています。

「1体の人形を作るのに、30〜40冊の関連図書を読みます」との高山さんの言葉に、会場からは感嘆の声が起りました。



▲5センチの川端康成のちまちま人形



▲身振り手振りを交えて講演する高山さん

3/15

## 市民活動を身近に

市民活動交流フェスタ2014

3月16日(日)、市民活動センター『のぼりん』で『市民活動交流フェスタ2014』(同センター主催)が行われ、同センターで市民活動を展開する25の団体が活動内容を紹介し、魅力を伝えました。

民謡や琴の演奏をはじめとするステージ発表には多数の観客が訪れ、日ごろの練習の成果に盛大な拍手を送っていました。

展示コーナーでは作品展示のほかに、訪れた方が実際に絵手紙や魚拓の制作を体験できるブースもあり、人気を博していました。



▲民謡のステージ発表

3/16

## 地元企業と化学に触れる

子育てcafe〜富岸子育てひろば〜

3月19日(水)、市民会館で『子育てcafe〜富岸子育てひろば〜』が行われ、親子連れを含む15人が参加しました。この催しは、市が特定非営利活動法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶに委託し、亀田記念公園管理棟2階に開設している『富岸子育てひろば』が、参加者に楽しみながら子育てをしてもらおうと開催したものです。

この日は北海道曹達株式会社との共同企画として、同社の研究開発部の研究員を講師に招き、手作りの入浴剤の製作などに挑戦しました。

原料を混ぜながら少しずつ化粧水を加える作業に、子どもたちも真剣な表情。入浴剤のいい匂いが始めると、会場に笑顔が広がりました。



▲入浴剤の製作の様子

3/19